

科目名	担当教員名	学期
特別講義Ⅱ（IT監査） Special LectureⅡ（IT Audit）	中原 國尋	後期
目的	<p>情報システム（IT）から出力された情報は、いつも正しいとは限らない。企業の意思決定にも広く使用される企業情報は、ITによって管理されているが、それらの適時性、正確性、可用性を評価することによって、はじめてITを用いた正しい判断の支援を行うことができる。</p> <p>本講義では、企業で使用されているITに潜むリスクを検討するとともに、そのリスクをカバーするためのコントロールを識別し評価することによって、企業における適切なIT利用を支えられることを目的とする。</p> <p>それにより、監査人のみならず、企業内でITを利用する担当者にとっても、ITを活用するにあたって考慮すべき留意点を明らかにし、企業におけるデータの流れを分析できるようになるとともに、システム導入・運用時に遭遇するトラブルにも柔軟に対応できるための力を身に付ける。</p>	
概要	<p>ITに対するコントロール（内部統制）は、ITを利用することによって有効に機能するコントロールと、ITを継続的に機能させるためのコントロールに分けて考えることができる。大きくはこれら2つの側面から、ITを監査するうえでの視点を解説する。</p> <p>また、講義の中ではケーススタディを行い、実際の業務の中で考慮すべきポイントを実感してもらおう。</p>	
到達目標	<p>ITに関するリスクを理解し、そのリスクが企業活動に与える影響を把握したうえで、ITを利用するにあたってユーザーが留意すべき事項を理解する。また、ITが作成する情報に過度に依存するのではなく、どのように意思決定の材料として利用可能な情報であることを確かめられるかについて理解する。</p>	
成績評価の基準と方法	<p>出席及び講義への積極的参加（40点）</p> <p>講義時間中に実施する確認テスト（60点）</p> <p>100点満点で60点以上を合格とし、A（20%）、B（40%）、C（40%）、D（20%）を目安とした相対評価により行う。</p>	
履修条件	<p>前提となる知識は問わない。</p>	
授業計画		
第1週	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IT監査の必要性、IT監査を学習する意義 ● 様々な目的で実施されるIT監査 ● 「システム監査」の目的と種類 ● 内部監査と外部監査 ● ITの第三者評価に関する制度（ISMS、個人情報保護、ISOなど） 	

第2週	<p>ITガバナンスと内部統制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織の内部統制におけるITの位置づけ ● ITリスクとITガバナンス ● ITに関する内部統制
第3週	<p>業務処理統制（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 業務処理統制の全体像 ● ITによる情報処理の概要、必要となる情報システムの基礎知識 インプット・コントロール ● エディット/バリデーションチェック、連番チェック、ダブルチェックなどによるコントロール
第4週	<p>業務処理統制（2）</p> <p>プロセッシング・コントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロジックテスト、チェックディジット、コントロールトータルなどによるコントロール
第5週	<p>業務処理統制（3）</p> <p>アウトプット・コントロール</p> <p>業務処理統制の監査手続</p> <p>業務処理統制と全般統制の関係</p>
第6週	<p>全般統制（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全般統制の全体像 ● 全般統制と業務処理統制の関係 ● IT環境の識別
第7週	<p>全般統制（2）</p> <p>システム開発の監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム開発のプロセス ● システムの品質管理 <p>確認テスト（小テスト）</p>
第8週	<p>全般統制（3）</p> <p>システム運用の監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運用業務の概要 ● 障害管理 ● バックアップとリストア
第9週	<p>全般統制（4）</p> <p>情報セキュリティの監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティの全体像/論理的セキュリティと物理的セキュリティ ● 情報セキュリティポリシーとその意義 ● 情報資産の意義と管理 ● ユーザー管理とアクセスコントロール

<p>第 10 週</p>	<p>全般統制（５） 外部委託先管理の監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受託業務に関する内部統制の評価 ● クラウド・コンピューティングの監査 ● クラウド・コンピューティングの特徴とリスク
<p>第 11 週</p>	<p>IT 内部統制の有効性の検証計画立案と実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● IT 内部統制の有効性評価 <p>全般統制の不備とその場合の対応 その他の論点（スプレッドシートの管理等）</p>
<p>第 12 週</p>	<p>データを用いた監査手続（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CAAT の概要と特徴 ● データを用いて監査を実施することの意義
<p>第 13 週</p>	<p>データを用いた監査手続（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不正発見と監査 ● 内部統制の不備とデータへの影響
<p>第 14 週</p>	<p>まとめ 確認テスト</p>
<p>第 15 週</p>	<p>確認テストの解説 業務プロセスと IT リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 販売、購買、固定資産、債権債務管理、棚卸資産、人件費、財務など <p>IT 監査の事例研究</p>
<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【テキスト】 指定しない。必要に応じて資料を教員から配布する。</p> <p>【参考書等】 IT 委員会実務指針第 6 号「IT を利用した情報システムに関する重要な虚偽表示リスクの識別と評価及び評価したリスクに対応する監査人の手続について」 IT 委員会実務指針第 7 号「受託業務のセキュリティ・可用性・処理のインテグリティ・機密保持に係る内部統制の保証報告書」 IT 委員会研究報告第 42 号「IT 委員会実務指針第 6 号「IT を利用した情報システムに関する重要な虚偽表示リスクの識別と評価及び評価したリスクに対応する監査人の手続について」に関する Q & A」 IT 委員会研究報告第 45 号「IT 委員会実務指針第 7 号「受託業務のセキュリティ・可用性・処理のインテグリティ・機密保持に係る内部統制の保証報告書」の実施上の留意点」 IT 委員会研究報告第 46 号「重要な虚偽表示リスクと全般統制の評価」 IT 委員会研究報告第 49 号「給与計算システムの受託業務に係る内部統制</p>

	<p>の保証報告書の記載例」</p> <p>監査基準委員会報告書 315 「企業及び企業環境の理解を通じた重要な虚偽表示リスクの識別と評価」</p> <p>監査基準委員会報告書 330 「評価したリスクに対応する監査人の手続」</p> <p>監査基準委員会報告書 240 「財務諸表監査における不正」</p> <p>監査・保証実務委員会実務指針第 86 号 「受託業務に係る内部統制の保証報告書」</p> <p>企業会計審議会 「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準の設定について（意見書）」</p> <p>システム監査基準・システム管理基準</p> <p>情報セキュリティ監査基準・情報セキュリティ管理基準</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>講義の内容を復習することにより疑問点を洗い出し、次の講義時までに質問として取りまとめることが望ましい。</p>